

Avigilon Control Center™ ゲートウェイユーザーガイド ド

バージョン6.14

© 2006 - 2018, Avigilon Corporation. 無断複写・複製・転載禁止。AVIGILON、AVIGILONロゴ、AVIGILONCONTROL CENTER、ACC、およびTRUSTED SECURITY SOLUTIONS.AVIGILON、AVIGILONロゴ、AVIGILONCONTROL CENTER、ACC、ACCESS CONTROL MANAGER、ACM、AVIGILONAPPEARANCE SEARCH、HDSM、およびHDSM SmartCodecAVIGILON、AVIGILONロゴ、AVIGILONCONTROL CENTER、ACC、ACCESS CONTROL MANAGER、ACM、AVIGILONBLUE、AVIGILONPRESENCE DETECTOR、APD、高精細ストリーム管理 (HDSM) 、HDSM、HDSM SmartCodec、AVIGILONAPPEARANCE SEARCH、およびRIALTOはAvigilonCorporationの商標です。Intel および Intel Core は、米国をはじめとする各国における Intel Corporation とその子会社の商標です。ONVIF はOnvif, Inc.の商標です。App Store は、Apple Inc. の商標です。Google PlayとGoogle AuthenticatorはGoogle LLCの商標です。FreeOTP Authenticatorは、Red Hat, Inc.の商標です。米国および他の国の場合。本書に記載されたその他の名称またはロゴは、該当する所有者の商標である可能性があります。本書で、商標の横に™ および®の記号がない場合でも、該当する商標の所有権を放棄してはおりませんので、予めご了承ください。Avigilon Corporation は、アメリカ合衆国およびその他の世界中にある管轄区域で発行された特許をもって、新技術を保護します (avigilon.com/patentsを参照)。書面で明示的に付与されない限り、Avigilon Corporation またはそのライセンサーの著作権、工業デザイン、商標、特許またはその他の知的財産権の使用は許可されません。

本文書は、本文書が公開された時点での製品情報と仕様を編集および公開したものです。本文書の内容と文書内で説明されている製品の仕様は事前の通知無く変更されることがあります。Avigilon Corporation は、予告なくそのような変更を行う権限を有します。Avigilon Corporation やその関連会社は:(1) この文書の情報の完全性もしくは正確性を保証することはありません。(2) この情報の利用や信頼について責任を負うものではありません。Avigilon は、本書内の情報を信頼したことによるいかなる損害 (間接損害を含む) にも責任を負うものではありません。

Avigilon Corporation
avigilon.com

PDF-ACCGATEWAY6-H

改訂: 1 - JA

20181012

目次

はじめに	4
システム要件	4
サポートされるブラウザ	5
詳細について	5
技術サポート	5
アップグレード	5
フィードバック	5
ゲートウェイへのアクセス	6
最初のログイン	7
セットアップ	8
サイトへの接続	8
一般	9
ユーザー	9
ネットワーク	9
ライブ エクスポート	10
ゲートウェイ Web クライアントの使用	12
Avigilon Control Center モバイル	13
ゲートウェイの SSL 証明書を実装する	14
トラブルシューティング	15
SSL 実装エラー	15
ゲートウェイが起動しない	15

はじめに

Avigilon Control Center™ ゲートウェイ ソフトウェアは Avigilon Control Center モバイル (ACC Mobile) アプリや Avigilon Control Center ゲートウェイ Web クライアントと連携して、ユーザーに Avigilon Control Center システムへのリモート アクセス権を提供します。

ACC Mobile はリモートでのビデオ監視のため、ユーザーのモバイルデバイスにインストールされます。ゲートウェイ Web クライアントは Avigilon Control Center クライアント ソフトウェアのシンプルな Web ブラウザバージョンです。ゲートウェイソフトウェアは、リモートアクセスを構成してビデオを Avigilon Control Center システムからリモートデバイスにストリームするために使用します。

システム要件

Avigilon Control Center ゲートウェイは ACC サーバーと同じコンピュータ上にインストールできますが、最適な性能を得るには、ゲートウェイを別にインストールすることをお勧めします。記載通りのシステム要件に従うコンピュータにインストールされている場合、ゲートウェイは同時に最大 36 ビデオストリームを処理できます。

システム要件	最小	推奨
オペレーティングシステム*	Windows Server 2016、Windows Server 2012、Windows Server 2012 R2、Windows 7 (64 ビット)、Windows 8.1 (64 ビット) または Windows 10 (64 ビット)	Windows 10 (64 ビット)
プロセッサ	Intel quad-core CPU (2.0 GHz)	Intel Core i5 (Quad-core, 3.3 GHz)
システム RAM	4 GB DDR3	8 GB DDR4
ハードドライブ容量	500 MB	500 MB

* Windows のすべてのバージョンについて、最新の Microsoft サービスパックを適用することを推奨します。

ゲートウェイと ACC Mobile にはインターネット接続が必要です。インターネット接続がないと、ACC Mobile はプッシュ通知を受信できません。

使用するモバイルデバイスでプッシュ通知を受信するには、以下のポートが開いておりゲートウェイにアクセスできる必要があります。

- iOS™ デバイスの場合 – 2195, 2196
- Android™ デバイスの場合 – 5228, 5229, 5230

サポートされるブラウザ

ゲートウェイには、以下の任意のブラウザからアクセスできます。

- Google Chrome™ ブラウザ バージョン 20 以降
- Firefox™ バージョン 15 以降
- Internet Explorer® バージョン 9 以降
- Apple Safari® バージョン 6 以降

詳細について

その他の製品マニュアルについては、Avigilon (avigilon.com) にアクセスしてください。

技術サポート

Avigilon 技術サポートへのお問い合わせは、<http://avigilon.com/contact-us/> にアクセスしてください。

アップグレード

ソフトウェアおよびファームウェアのアップグレードは、利用可能になるとダウンロードして入手できます。可能なアップグレードについては、avigilon.com/support-and-downloads にてご確認ください。

フィードバック

私たちはお客様からのフィードバックを大切にしています。当社の製品およびサービスに関するコメントは、feedback@avigilon.com に送信してください。

ゲートウェイへのアクセス

ゲートウェイを実行するコンピュータ上で、以下のいずれかの方法により、ゲートウェイ構成にアクセスできます。



- デスクトップの  をダブルクリックします。
- スタートメニューから、**[すべてのプログラム] > Avigilon > Avigilon Control Center ゲートウェイ > Avigilon Control Center ゲートウェイ**の順に選択します。
- Web ブラウザで、<https://localhost/> を入力します。

メモ : デフォルトでは、ゲートウェイはHTTPS 経由でアクセスし、ローカルでの構成のみが可能ですが、ネットワークページでリモート構成およびHTTP アクセスを有効化することができます。

Web ブラウザでゲートウェイが開いたら、ログイン情報を入力します。デフォルトのユーザー名:管理者でパスワードはありません。

最初のログイン

初回ログインするときは、デフォルトのユーザー名を使用します。管理者でパスワードがありません。

ログインすると、管理者パスワードを変更する管理者パスワードの設定ページに自動でリダイレクトされます。

- 管理者アカウントの**新しいパスワード**：を入力して確定したら、**[OK]** をクリックします。

これでゲートウェイにログインしています。左にあるメニューから各ゲートウェイ構成ページにアクセスできます。

セットアップ

セットアップリンクをクリックして表示される最初のページは、サイトに接続 ページです。ACC Mobile とゲートウェイ Web クライアントを介して、サイトをゲートウェイ アクセス ビデオに接続する必要があります。

左側のペインにある他のリンクをクリックして、他の利用可能な設定を構成します。

サイトへの接続

ログインすると、ただちにサイトに接続 ページに移動します。ACC Mobile とゲートウェイ Web クライアントでサイトにアクセスするには、サイトをゲートウェイに接続する必要があります。

タスク	操作
サイトをゲートウェイに接続する	<p>見つかったサイト リストからサイトを選択し、接続 をクリックします。サイトが 接続されたサイト リストに追加されます。</p> <p>デフォルトでは、接続のタイプ： は LAN に設定されています。サイトが広域ネットワーク経由でゲートウェイに接続されている場合は、接続のタイプ： を WAN に変更します。</p> <p>メモ : Avigilon Control Center 5 サイトのみがリストされています。このバージョンのゲートウェイはAvigilon Control Center 4 と互換性がありません。</p>
リストされていないサイトを探す	<p>[サイトを探します...] をクリックします。</p> <ol style="list-style-type: none">サイトを探します ページで、サイト内で見つけたいサーバーの IP アドレス/ホスト名： および ポート： を入力します。デフォルトのポート番号は 38880 です。次に、[OK] をクリックします。サイトが自動的に見つかったサイト リストに追加されます。
サイトをゲートウェイから切断する	<p>接続されたサイト リストからそのサイトを選択し、切断 をクリックします。</p>
サイトの詳細をレビュー	<p>リストからサイトを選択し、サイトの詳細... をクリックします。</p> <p>[Site Details(サイトの詳細)] ダイアログ ボックスに次の情報が表示されます：</p> <ul style="list-style-type: none">ゲートウェイがサイトへの接続に使用する接続の種類。サイトが自動または手動で検出された場合。サイト内の全サーバーの IP アドレスと、HTTP または HTTPS 接続に使用されるポート番号。

一般

一般 ページで、ゲートウェイに名前を付けてプッシュ通知を有効にできます。

1. 一般 ページで、ゲートウェイの名前を入力します。これは ACC Mobile アプリでゲートウェイを識別するために使用する名前です。

デフォルトで、名前は GATEWAY-<コンピュータ名> です。

2. ACC Mobile アプリへのアラームプッシュ通知を有効にするには、[プッシュ通知を許可] チェックボックスを選択します。

アプリでプッシュ通知を受信するには、適切なポートを必ず開いた状態にしておいてください。詳細については、「システム要件」(4ページ)を参照してください。

3. [適用] をクリックします。

ユーザー

デフォルトで、ゲートウェイには 2 人のユーザーがいます。ゲートウェイを構成する 管理者、および ACC Mobile アプリまたはゲートウェイ Web クライアントによってゲートウェイに接続する オペレータ です。

オペレータのユーザー名とパスワードを変更できますが、管理者のパスワードのみを変更できます。

デフォルトの 管理者 ユーザー名は、*administrator* で、パスワードはありません。最初のログイン直後に、パスワードを設定するように要求されます。

デフォルトの オペレータ ユーザー名は *operator* で、パスワードをとません。新規ユーザー名とパスワードを設定して、セキュリティを強化することを推奨します。

- ユーザーページで、以下の任意の処理を実行できます。
 - 管理者または オペレータ のパスワードを変更するには、[新しいパスワード:] フィールドにパスワードを入力して確定し、[適用] をクリックします。
 - オペレータのユーザー名を変更するには、新しい名前を [ユーザー名:] フィールドに入力し、[適用] をクリックします。

ネットワーク

ネットワーク ページで、ゲートウェイへのアクセスに使用するポートを設定できます。

ストリーミング ポートは、Avigilon Control Center システムから ACC Mobile またはゲートウェイ Web クライアントへのビデオストリーミングに使用されます。設定ポートは、ゲートウェイにアクセスして構成するのに使用されます。

1. ネットワークページで、必要に応じて新しいポート番号を入力します。デフォルトでは、HTTP ポート番号は 80、HTTPS ポート番号は 443 です。

メモ：ポート番号を変更したら、ファイアウォール経由でのゲートウェイアクセスが引き続き可能なことを確認します。Windows ファイアウォールを使用している場合、新しいポート番号の例外を手動で追加する必要があります。

2. リモートコンピュータからゲートウェイを構成したい場合、[**リモート設定の許可**] チェックボックスを選択し、[**適用**] をクリックします。

チェックボックスを選択したら、ゲートウェイはどの Web ブラウザからでも `https://<ゲートウェイ IP アドレス>:<ポート番号>` にアクセスできます。

3. ACC Mobile またはゲートウェイ Web クライアントが HTTPS ではなく HTTP によりゲートウェイにアクセスできるようにするには、**HTTP 認証を有効化**チェックボックスを選択します。

メモ：HTTP を使用したゲートウェイ接続は、安全な接続が確保できないため、推奨しません。

4. [**適用**] をクリックして、変更を保存します。

ライブ エクスポート

ライブエクスポートページで、ライブビデオを一連の静止画像としてエクスポートするようにシステムを設定できます。[画像フォーマット:] を選択して、エクスポートの設定を選択できます。

1. ライブエクスポートページで、接続サイトの **ユーザー名**：および **パスワード** を入力します。
2. **使用可能なデバイス** リストからカメラを選択し、[**接続**] をクリックします。複数のデバイスを接続できます。

ゲートウェイにリンクされているサイトに接続したすべてのカメラは、使用可能なデバイス リストに表示されます。

メモ：ライブエクスポートは、ゲートウェイに接続したカメラだけで行われます。

3. **画像フォーマット**：ドロップダウンリストで、エクスポート形式：PNG、JPEGまたはTIFFを選択します。
4. (JPEG 画像のみ) **画像品質**：ドロップダウンリストで、エクスポート画質レベルを選択します。
5. エクスポートレート：を設定します

- **フル** を選択し、カメラのフル画像レートでライブビデオストリームをエクスポートします。
- **以下ごとに1画像** を選択し、エクスポートされる各画像間で時間を制御します。たとえば、0分5秒と入力すると、ビデオの画像が5秒おきにエクスポートされます。

6. エクスポートされる画像の量を制限するには、数値を [**保管する画像の最大数**:] フィールドに入力します。デフォルトの数値は 200 画像です。このフィールドは空白またはゼロに設定できません。
7. リストされた画像オーバーレイを選択して、エクスポート画像にその情報を含めます。

8. カメラの視野の一部だけをエクスポートする場合は、[**インタレストの領域**] をクリックします。

拡大した画像パネルで、緑のオーバーレイを移動してサイズを調整し、エクスポートするエリアをハイライトします。緑色のオーバーレイでカバーされるエリアだけがエクスポートされます。

9. 準備ができたなら、[**開始**] をクリックします。

画像の上限数に達するまでエクスポートし、最も古いエクスポート済み画像から上書きします。[**停止**] をクリックするまでライブのエクスポートが続行します。

エクスポートされた画像は自動的に Avigilon Control Center Gateway `img` フォルダに保存されます。

フォルダは通常以下の場所にあります。C:\Program Files\Avigilon\Avigilon Control Center Gateway\img

ゲートウェイ Web クライアントの使用

ゲートウェイ Web クライアントでは、任意の Web ブラウザから Avigilon Control Center システムにアクセスできます。

ゲートウェイ Web クライアントにアクセスするには、ゲートウェイ IP アドレス、ゲートウェイへのユーザーアクセス権、および Avigilon Control Center システムへのユーザーアクセス権が必要です。

1. サポートされている Web ブラウザーに、`https://<Gateway IP Address>/acc` の形式でゲートウェイ IP アドレスを入力します。
2. ゲートウェイユーザー名とパスワードを入力するように、ブラウザから指示されます。
ログイン後、System Explorer はゲートウェイに接続しているすべてのサイトをリストします。
3. すべてのサイトにログインするように指示されたら、Avigilon Control Center システムのユーザー名とパスワードを入力し、**[ログイン]** をクリックします。

すべてのデバイス、サイト内にある保存されたビューおよび Virtual Matrix モニターがアルファベット順にリスト表示されます。

Avigilon Control Center モバイル

ACC Mobile 2.xは現在、Apple App Store および Android Play Store から無料で入手できます。

このアプリを使用するには、ゲートウェイ IP アドレス、ポート番号、ユーザー名、パスワードが判明しており、Avigilon Control Center システムのユーザー アカウントがある必要があります。

ゲートウェイの SSL 証明書を実装する

内部セキュリティ設定で特定のタイプの SSL 証明書が必要な場合、Avigilon で提供された証明書を自分自身の証明書に置き換えることができます。

1. ゲートウェイソフトウェアがインストールされるコンピュータで、Windows `certmgr.msc` を使用して、SSL 証明書を Windows にインポートします。
2. Windows Explorer で、`%ProgramFiles%\Avigilon\Avigilon Control Center Gateway\cert` に移動します。

フォルダは、通常、以下の場所にあります。C:\Program Files\Avigilon\Avigilon Control Center Gateway\cert

3. このフォルダの内容をコピーして、バックアップ場所にペーストします。
4. 固有の SSL 証明書 `.pfx` ファイルを `GatewayCertificate.pfx` として名前変更し、それを `\cert` フォルダにコピーします。
5. Avigilon Control Center Gateway フォルダで、`folder, copy and paste the Gateway.cfg` ファイルをコピーしてバックアップ場所にペーストします。
6. テキストエディタで元の `Gateway.cfg` ファイルを開きます。
7. `<Gateway>` タグを開いた後で、以下の文字列を挿入します。

```
<ConfigItem name="CertificatePassword" type="String" value="mypassword"/>
```

8. この構成項目の値 `mypassword` を SSL 証明書の秘密鍵で置き換えます。
9. ゲートウェイサービスを再起動します：
 - a. **スタート** メニューで、`services.msc` を検索します。
 - b. **サービス** ウィンドウで、Avigilon Control Center Gateway を選択します。
 - c. **再開** をクリックします。

これで SSL 証明書がゲートウェイによって使用されます。

ゲートウェイサービスを再起動しようとするエラーが発生する場合は、「SSL 実装エラー」（15ページ）を参照してください。

トラブルシューティング

SSL 実装エラー

SSL 証明書の実装を終えても、変更内容が反映されず、ゲートウェイサービスの再起動中にエラーが発生することがあります。

問題を解決するには、以下の手順を完了します。

1. %ProgramFiles%\Windows NT\Accessories\ に移動します。
2. **Wordpad.exe** を右クリックして、**[管理者として実行]** を選択します。
3. テキストエディタで、%ProgramFiles%\Avigilon Control Center Gateway\Gateway.cfg を開きます。

ファイルは通常、以下の場所にあります。C:\Program Files\Avigilon\Avigilon Control Center Gateway\Gateway.cfg

4. <Gateway> タグを開いた後で、以下の文字列を挿入します。

```
<ConfigItem name="CertificatePassword" type="String" value="mypassword"/>
```

5. この構成項目の値 *mypassword* を SSL 証明書の秘密鍵で置き換えます。
6. ゲートウェイサービスを再起動します：
 - a. **スタート** メニューで、services.msc を検索します。
 - b. サービスウィンドウで、**Avigilon Control Center Gateway** を選択します。
 - c. **再開** をクリックします。

ゲートウェイが起動しない

ゲートウェイにアクセスしようとする、Web ブラウザーで内部サーバー エラーが表示されます。ゲートウェイサービスを確認すると、サービスが起動されていないため開始できません。

この問題は、オペレーティングシステムでゲートウェイと同じポートを使用する Web サービスが有効になっている場合に発生します。Web サービスでは、次のように、オペレーティングシステムによって異なる名前を使用します。

- Windows Server 2008 以降では、サービスは WorldWideWebPublishingService (W3SVC) と呼ばれます。
- Windows 7 および 8 では、サービスは Internet Information Services (IIS) と呼ばれます。

この問題を解決するには、関連する Web サービスを無効にします。

1. **[スタート]** メニューで、`services.msc` を検索します。
2. サービスウィンドウで、**World Wide Publishing Service** または **IIS Admin** を検索して、ダブルクリックします。

[プロパティ] ダイアログ ボックスが表示されます。
3. **起動タイプ** のドロップ ダウン リストから、**無効** を選択します。
4. **[サービスの状態:]** エリアで、**[停止]** をクリックします。
5. **[OK]** をクリックして、ダイアログ ボックスを閉じます。
6. サービスウィンドウで、Avigilon Control Center ゲートウェイ サービスを起動します。
7. **[スタート]** メニューで、`comexp.msc` を検索します。
8. [コンポーネントサービス] ウィンドウで、左のシステム ツリーを展開し、**[サービス]** オプションを選択します。
9. [サービス] リストで、関連する Web サービスを見つけ出し、無効になっていることを確認します。

次回ゲートウェイにアクセスすると、問題なく Web ブラウザーを開くことができるはずです。